

かぎぐるま 通信

発行：社会福祉法人いこま福祉会

発行責任者：理事長 関谷 多摩恵



s.makiko

社会福祉法人いこま福祉会が創立して 11 年、地域の方々やご家族、利用者、職員など様々な方々の力を得て、ここまで歩んでくることができました。障がいがあっても地域の中で地域の一員として暮らすという法人理念に基づき、さらなる発展と豊かな地域づくりを目指して法人職員一同努力してまいります。

人と人とのつながりのなかで

ようやく厳しい暑さも和らぎ、爽やかな風を感じる季節となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか？近隣の田んぼに所々彼岸花が咲いているのが見受けられましたが、いつの間にか稲刈りも終わってしまいました。そして、かざぐるまの畑でもさつま芋の収穫が済んで、かざぐるまつりに向けた販売準備も着々と進んでいます。

早いもので、かざぐるまに就任して半年が経過しました。9月には、旅行にも参加して利用者の方ととても楽しい時間を過ごすことができました。毎日、作業場の様子を見に行っていますが、今では利用者の方から声を掛けてくれることもあります。現場にいた私にとっては利用者さんとの直接の触れ合いは、何よりの力の源です。

かざぐるまの雰囲気魅かれてやっではきたものの、地名はもとより奈良のことを殆ど何も知らない状況で飛び込んできた私にとって、やはり最初は多少の不安を感じました。しかし、関谷理事長をはじめ出迎えてくれた職員と利用者、そのご家族の方々の温かい雰囲気に包まれて、すぐにそういった不安は払しょくされました。

「人は環境の中で生きている」、ユニット型の介護を推進し出来る限り家に近い環境作りに努めている或る高齢者施設の理事長さんが、人が暮らす環境の重要性について、以前私にそう教えて下さいました。この言葉を肝に銘じて施設の運営にあたってきましたが、同時に私はこうも考えます。「人は関係の中で生きている」のだと。見知らぬ土地で温かく迎えていただいた私は、尚更そう感じました。ましてや自分の気持ちをうまく伝えられない利用者さんが多いなか、このことは最も大切なことなのだと思います。

関係の幅を広げ、築いていくことが大きなエネルギーとなり「創る」ことへとつながる。そう信じて、外とのつながりを大切にしてこの半年間取り組んで参りました。

喫茶ゆうほ〜の運営にあたっては市内でケーキ屋を営む「ルシェルシュ」の高木さんが親身に相談にのってくださり、アドバイスをいただきました。帝塚山大学の菅先生は、授産製品の販路の拡大でご協力いただき京都大学総合博物館でのクッキーの販売に至り、博物館でも好評と聞いています。また、帝塚山大学に利用者と訪問してかざぐるまの活動を紹介する機会をいただき、今後学生との新たなコラボレーションを模索していきます。紙漉き作業では、以前から親交の深いエイト紙工の奥上さんに再度ご指導頂いて、製品の品質と生産力の向上のアップへとつながっています。また、研修では県立リハビリセンターの言語聴覚士松下先生にお越しいただき、摂食機能のメカニズムについてご講義いただきましたが、職員の熱心さに心打たれ、継続してご講義いただけるようになり脳の機能をはじめ医療的なアプローチについて今後も学ぶ予定です。

しかしながらかざぐるまにきて驚かされたのは、ボランティアの方々が絶え間なく施設に来て下さっていることです。あまりに沢山の方がご訪問くださりきちんとご挨拶できているのか、失礼はないかと不安になります。まさしくかざぐるまはその名前の由来通り、人が自然にそよ風のように出入りできる自由な施設です。かざぐるまでこれまで培われた「人と人とのつながり」を大切にして、その関係の中で新たに「創る」力を生みだすことができるようにこれからも努力していきたいと思います。これからも皆様の温かいご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

放課後等デイサービスふるふる がスタートしました！

この度、10月2日より生駒市西菜畑町で新たに放課後等デイサービス事業を展開していくこととなりました。放課後等デイサービス『ふるふる』といいます。

『ふるふる』とは、パワフル・ワンダフルといったよ

うに、前につく単語に「十分な・満ちた」という意味を追加します。地域の中で子どもたちの個性や持てる力を十分に活かせるように…魅力をふるふるしてみんなの笑顔があふれる場所になるように…。

そんな想いを込めて、名付けました☆(^-^*)子どもたちが呼びやすい名前というのも大きなポイントです！

自然豊かな地域の中で、子どもたちがのびのびと元気に活動できる場所になればいいなあと思っています。どんな楽しいことをしようかな♪わくわくドキドキ♪

みなさん！元気いっぱい子どもたちに会いに、ぜひ遊びに来てください！(^▽^)/☆

(高曲)

◆ご利用につきましては、下記までご連絡ください！

放課後等デイサービス ふるふる

住所：生駒市西菜畑町 1599

携帯：090-1137-4258

担当：しもかわとこ
下川床・海野



ゆうほ〜プロジェクト始動！

生駒駅南側近くにある喫茶ゆうほ〜及びコラボショップお〜くるの運営を見直し、「はたらく」「つくる」「つたえる」を活動の軸にして、ひとりひとりが主体的に働くことができ、地域住民との交流の場としても機能を高め、「かざぐるま」の活動を発信する拠点となるようプロジェクトを進めています。

これまでのプロジェクトの成果として、新たな客層の獲得のため、月曜日から金曜日までの営業日だったものを6月から火曜日から土曜日までの営業日に変更





したり、会議や交流の場として使用することが出来る貸部屋をより地域の皆様にも使用していただけるよう情報発信を進めてきました。その他、生駒商工会議所が主催する10月4日、5日に開催される「いまこいバル」や10月21日から11月20日の間、生駒にあるお店の人が講師となって様々な情報

を伝える「まちゼミ」への参加、10月から始めたスタンプカード等より地域の方が利用していただけるよう今後も店舗内の改装も含め進めて行きます。



帝塚山大学との地域連携を図っています！

かざぐるまの活動をもっと地域と連携してできないか模索している中、平成25年6月27日、帝塚山大学経営学部と連携を図っていくための話し合いの機会をいただくことができました。

早速7月には、帝塚山大学でかざぐるまの活動について情報発信する機会をいただき、8月には、経営学部の菅先生



にマーケティングについての講義をしていただきました。

そんな中、帝塚山大学の紹介で京都大学総合博物館の売店にかざぐるまのクッキーを置いていただくことができました。かざぐるまでも人気商品の一つである「型抜きクッキー」を博物館で開催中の「水の生き物展」と掛け合わせて、水の生き物の型抜き



クッキーを販売し好評をいただいております。

また、帝塚山大学とのコラボ企画として、大学のシンボルマークでもある松ぼっくりをモチーフにしたクッキーを作成しました。帝塚山大学の東生駒キャンパスにあるどんぐり林道をテーマに男の子と女の子の松ぼっくりの形をした可愛いクッキーです。帝塚山大学の学生さんには、商品構成の企画、ネーミング、かざぐるまのパティシエ達の似顔絵を作成していただきました。

今後も帝塚山大学も含め様々な機関とも連携を進めながら、地域に根差した施設を目指していきます。



京都大学総合博物館でも販売!!

人気の『型抜きクッキー』が、帝塚山大学のご協力で、京都大学総合博物館の売店に期間限定で販売してもらえることになりました。



最初に納品したクッキーは、1週間ほどで完売。更に追加で納品させてもらえることになりました。



どんぐり林道の仲間たち

帝塚山大学Xmoulinの素敵なパティシエたち
私たちが心をこめて作りました♪



【帝塚山大学Xかざぐるま】

かざぐるま 生活介護事業活動報告

かざぐるまでは、現在 97 名の利用者が通所されています。平成 24 年には、生活介護事業の単位を2つに分け、各単位に応じた職員体制をとりながら、活動を実施してきました。そんな中、単位ごとに活動が分かれていること、玄関、食堂も分かれていることから、事業体系を見直し、



〔一泊旅行〕リニア館にて〕

平成 25 年 7 月より、「かざぐるま」と「かざぐるまえーる」の 2 つの事業所として、新たにスタートすることになりました。新たな「えーる」という名称には、フランス語で翼という意味があり、かざぐるまの新しい風を受けて羽ばたいていくこと、地域の皆様から「エール＝応援」を受けて、より地域に根差した活動を進めて行きたいという思いから付けられました。これからも「かざぐるま」及び「かざぐるまえーる」の活動をあたたかく見守っていただけたら幸いです。



〔みんなでイルカとタッチ！〕

かざぐるま 就労継続支援 B 型活動報告

平成 25 年 4 月から「優先調達推進法」という法律が施行されました。これは、国・地方公共団体等が障がい者就労施設等に対して優先的に物品や作業を発注することができる法律です。生駒市ではいち早く法の趣旨に沿って、生駒市リニア新駅誘致の名刺をかざぐるまに発注していただきました。行政の提示する品質を確保するのは、職員・利用者も苦労しましたが、紙漉きの普及



に活躍されている

「エイト紙工」の奥上先生のご指導を受けながら、品質の向上にも努め、名刺の受注が入るたびにみんなで気合いを入れ少しでも品質の良いものを提供しようと取り組んでいます。その成果もあり、その後も人権啓発イベントで配布したしおりの発注を受けるなど、優先調達推進法を有効に活用しながら、利用者の工賃向上に努めています。



〔生駒市から発注を受けた名刺です〕

デイケアセンターかざぐるま【居宅介護・行動援護・移動支援・日中一時支援】

土日祝日は主に成人利用者さんの余暇支援として行動援護・移動支援サービスを提供しており、利用者さんのニーズに合わせ、県内外と色々な所へ外出しています。

平日の放課後は児童のみんなと室内で遊んだり、近くのスーパーや公園に遊びに行く事もあります。児童放課後支援の主なサービス拠点として、生駒市福祉センターの機能回復訓練室（リハビリ棟）をお借りして実施してきました。

また、毎年長期休暇を利用してサマースクールやスプリングスクールを開催しています。セラピー犬を招いたり、みんなでクッキングや流しそうめんをしたりして楽しんでいます。恒例の大きなプールに入り、皆さんの楽しそうな声がたくさん響き、笑顔があふれています。今年は新たにサマースクールの最終日にスイカ割りや花火などの催しをして楽しみました。これからも様々な体験をしてもらい、もっともっと皆さんの笑顔が見られるような支援をしていきたいと思っています。（水野）



デイケアセンターかざぐるま 【ケアホーム・福祉ホーム・短期入所】

ケアホーム・福祉ホームは、仲間やスタッフと共に共同で生活をしています。

年に数回、各ホームの利用者さんが集まり、バーベキューや新年会などの行事も行っています。中でも、毎度の合同ホーム旅行は好評で、今年は和歌山県のリゾート地にてオーシャンビューの素敵なお風呂付ホテルに1泊♪、夜はヨットクラブの会場を貸し切ったのビュッフェスタイルのパーティーで豪華な食事を堪能しました。打ち上げ花火のイベントもあり、普段見る機会の少ない打ち上げ花火を間近で見た利用者の皆さんは手を叩いての大興奮！！大きな感動に包まれていました。

各ホームの特色や個性は様々ですが、今後も共同生活ならではの楽しみを取り入れながら、一人ひとりの生活が豊かになるように各利用者さんのニーズにそった生活支援を行っていききたいと思っています。（岡山）



生活支援センターかざぐるま

生活支援センターかざぐるまでは、障がいのある方々が地域の中でよりよい生活を実現していくために相談支援事業を展開しています。

生駒市では障害者自立支援法一部改正によるサービス等利用計画の作成を平成 25 年 3 月から進めています。そのため生活支援センターかざぐるまでも指定特定相談支援事業、指定障害児相談支援事業、指定一般相談支援事業の指定申請を行い、サービス等利用計画の作成に取り組んでいます。

相談支援業務以外にも従来から取り組んできた「社会生活力を高めるプログラム」として「かんたん・おいしい・夕食作り」「サロン活動」「交流プログラム」も継続して実施しています。また、昨年から新たに取り組んできた支援センター主催企画「チャレンジマナー講座」も今年度開催しました。挨拶や姿勢、日常生活のマナーなど普段何気なく過ごしていたことも、あらためて見直す機会となり、皆さん熱心に聞いていた様子が印象的でした。今後も継続して色んな企画を考えていきたいと思っています。

研修報告

○障がい特性を理解するための内部研修

自閉症をはじめ様々な障がい特性の方々の支援を行っていく中で、職員がその障がい特性を理解し、適切な支援を展開していくために、スーパーバイザーとして関わっていただいている登丸和子先生のお力を借りて、新人職員への研修やケースに対しての相談やアドバイス、また個別支援計画など職員の抱える課題に対してご指導や勉強会の機会などを作っています。

また、「行動障がい」と言われる日中活動や生活の中でより高度で専門的な支援を必要とする利用者もおられます。彼らのとても複雑な個性を理解し適切な支援を行っていくため、主に大阪を中心に発達障がいの子どもたち、そのご家族をサポートするために様々な活動を展開されている「自閉症 e サービス」の中山清司先生からコンサルテーションも受けることになりました。

かざぐるまでも自閉症の方の様々な課題に対して悩んでいる中、登丸先生のスーパーバイズや中山先生のコンサルテーションを受けることで、徐々に支援の糸口や本人の抱えている問題に向き合い、安心して過ごせる環境作りに取り組んでいます。また、自閉症 e サービスが主催する研修会への参加やかざぐるま内での勉強会を企画する等職員の資質向上にも取り組んでいます。

○言語聴覚士の先生による摂食に関する勉強会

近年、利用者の障がい特性や高齢化、身体的機能の低下などから、誤嚥や摂食に関する問題、そして利用者の健康維持における課題を施設として感じていました。今回はこうした現状の中で、言語聴覚士の先生との繋がりを持つことができ、摂食に関する研修会を実施しました。

1 回目の研修会では、身体の機能と動きについて、実際に参加者が口腔内の動きを身体で表現してみたり、様々な事例や映像も交えてわかりやすく教えていただきました。今まで当然のように行っていた食事介助においても、介助者とのコミュニケーションの大切さ、食べる姿勢など様々な要素が重なって「食べる」という行為が成立していることを実感し、日々の支援を見直すきっかけとなりました。

9 月には 2 回目の研修会が行われ、脳と身体の動きという視点からお話をいただきました。脳の活動によって様々な感覚・情報処理がなされていること、また自閉症という障がい特性の面から特異な感覚があり、偏食や摂食の問題などについても学ぶことができました。

今後も継続して勉強会を行っていく予定で、この機会を通じて様々な視点から学び、利用者の方々の安全と健康、生活の豊かさへ繋げていくことのできる支援を作り上げていきたいと思っています。

○救命講習会

8 月 18 日と 31 日に生駒市消防署の協力を得て、救急救命法の研修を実施しました。

心肺蘇生(胸骨圧迫と人工呼吸)、AED の使用を参加者一人一人が実践したり、気道の異物除去として背部叩打法や腹部突き上げ法などの救命法を教えていただき



ました。施設内部でも看護師より誤嚥時の対応方法を学ぶ勉強会を行いました。

障がいのある方々の支援に携わる中で、いつどこでどんな状況で命に関わる事態が起こるかはわかりません。今は当たり前のように過ごしている毎日でも、日々体力や身体機能の低下、病気などから想像もしなかった出来事が突然起こりうる可能性も秘めています。救急救命法の講習を「過去にやったことがある」という職員は多いのですが、今できるか？といわれるとほぼ全員が自信がない、覚えていないというのが実態です。いざ命に関わる事態に陥った時、実践に生かせる救命救急法を各職員が覚えておくことが重要であり、そのためには繰り返しの訓練が必要であるということを改めて感じました。

今回の研修では各職員が真剣に高い意識を持って取り組んでいました。緊急事態にどの職員が遭遇しても最善の救命行為が行えるよう施設としてこれからも取り組んでいきたいと思ひます。

◇アルミ缶回収の御礼とご報告◇

日頃はアルミ缶回収にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

アルミ缶回収・缶つぶし作業は、リサイクル班利用者が、社会資源の再利用で地球環境（エコ）に一役を担い、社会に参加できる仕事で、地域の皆様のあたたかいご協力のもとで成り立っている仕事でもあります。

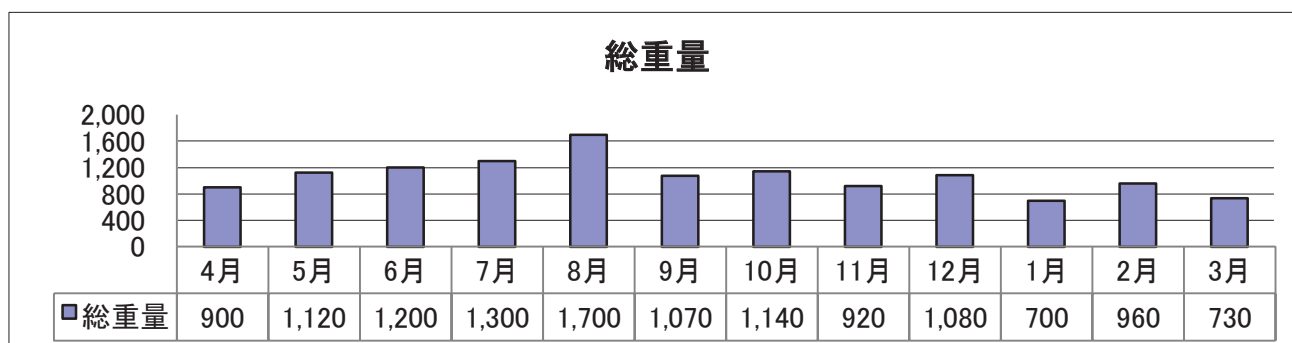


これからも安定的に作業ができるように、ご支援、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

また、牛乳パックの回収も行っています。これもエコ活動の中で、紙すき班が再生紙の製品（名刺、はがき）を作っております。こちらもお協力宜しくお願い致します。

【回収地域 約 30 地域 平成 24 年度の総重量 (kg)・収益 (円)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
総重量	900	1,120	1,200	1,300	1,700	1,070	1,140	920	1,080	700	960	730	12,820	1,068
収益	79,749	92,831	95,132	94,269	111,811	87,047	89,778	67,620	85,010	73,332	87,257	87,508	1,051,344	87,612





◇ヘルパーさん大募集！！

ヘルパーの資格をお持ちの方！
障がいのある方と関わるお仕事をして
みませんか？

内容は、障がいのある方の外出の付き
添いや障がい児の放課後・長期休暇の
支援などです。

月 1 回からでもOKですし、未経験の
方も大歓迎です。

【時給】

時給 800 円～1050 円

交通費 別途支給

＊ 時間帯は、平日、土日、早朝、日中、
夕方、夜間など様々ですので、ご相
談に応じます。

興味のある方は、0743-77-9902
担当 高曲 まで是非ご連絡ください。



◇宿泊スタッフ大募集！！

ケアホームや福祉ホームで生活している
障がいのある方の日常生活の支援です。
食事作りや掃除を一緒にしたり、散歩や
買い物に出かけたりなどの支援を行いま
す。

特別な資格はいりません。楽しく一緒に
生活を支えていただける方をお待ちして
います。

【ケアホーム・福祉ホームの場所】

- ・「一歩の家」生駒市西旭ヶ丘
- ・「ポピー」生駒市新旭ヶ丘
- ・「クローバー」生駒市新旭ヶ丘
- ・「おかりなの家」生駒市壱分町

【時間帯と時給】

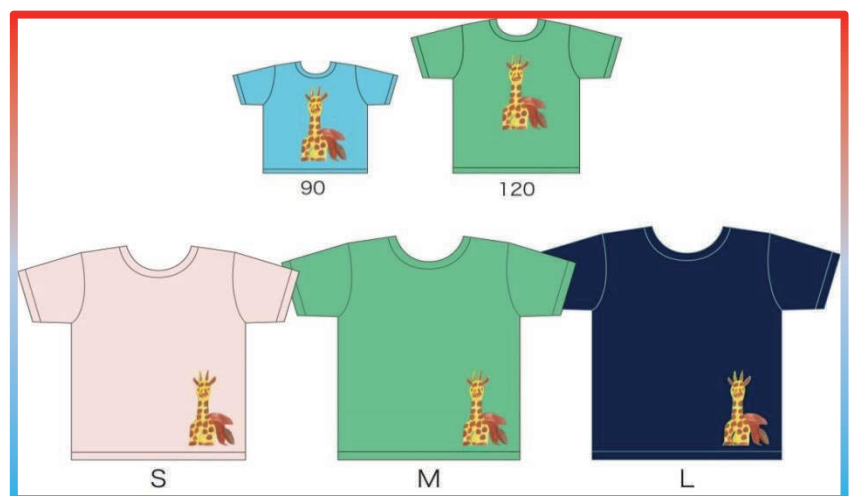
- ・ 16:00～9:30 日給 10,600 円
- ・ 9:00～17:00 時給 800 円

興味のある方は、0743-77-9902
担当 岡山まで是非ご連絡ください

☆かざぐるまオリジナルＴシャツの販売☆

今回、かざぐるまつり'13 の開催
に伴い、かざぐるまオリジナルＴシ
ャツを作成、販売することとなりました。

かざぐるまの利用者が描き上げた
イラストをモチーフにできたかわ
いＴシャツです。子どものサイズ
からあります。ぜひこの機会にかざ
ぐるまの個性豊かなグッズをお買
い求めください！



子ども用 サイズ「90」「120」 色「水色」「グリーン」

大人用 サイズ「S」「M」「L」

色「ピンク」「グリーン」「ネイビー」

から選べます。

新職員の紹介

常勤職員

浅井 伊知人 (平成25年 4月 1日採用)
藤森 友彰 (平成25年 4月 1日採用)
志水 勝 (平成25年 8月26日採用)
阪田 和子 (平成25年10月 1日採用)

嘱託職員

片山 美沙 (平成25年 7月 1日採用)

非常勤職員

岩井 明美 (平成25年 9月 1日採用)

苦情処理委員会(第三者委員会)

平成25年7月1日に定例会を開催しました。

平成24年度中に苦情処理委員会で審議された案件は0件でした。

◇苦情処理委員 (順不同 敬称略)

- ・委員長 上田 利雄 (TEL:0743-73-5030)
- ・副委員長 柳田 富恵 (TEL:0743-76-8615)
- ・委員 有働 満喜子 (TEL:0743-77-6111)
- ・委員 新町 茂之 (TEL:0743-77-7839)
- ・委員 杉田 ヒデ (TEL:0743-75-4736)

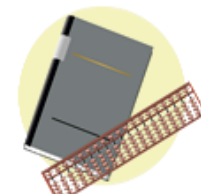
◇苦情に関することは、苦情処理責任者 浅井 苦情受付責任者 小野
までご連絡ください。(TEL:0743-77-9900)

◇かざぐるま玄関、ダイケアセンター玄関に苦情処理受付箱も設置しております。



平成24年度決算報告(事業活動計算書)

(自)平成24年4月1日 (至)平成25年3月31日



就労支援事業活動収支の部

	24年度決算	23年度決算	増減
収 入		0	
就労支援事業収入計(1)	16,939,860	16,382,899	556,961
支 出			
就労支援事業活動支出計(2)	15,943,602	17,458,909	-1,515,307
就労支援事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	996,258	-1,076,010	2,072,268

福祉事業活動収支の部

収 入			
自立支援費等収入	302,300,112	275,139,934	27,160,178
補助事業等収入	43,208,525	47,173,877	-3,965,352
事業収入	752,440	944,100	-191,660
経常経費補助金収入	0	14,693,450	-14,693,450
寄附金収入	3,846,064	4,443,682	-597,618
雑収入	1,246,287	1,186,455	59,832
国庫補助金等特別積立金取崩額	27,328,569	28,262,138	-933,569
福祉事業活動収入計(4)	378,681,997	371,843,636	6,838,361
支 出			
人件費支出	242,633,370	237,935,816	4,697,554
事務費支出	18,179,646	17,545,054	634,592
事業費支出	39,922,684	38,283,288	1,639,396
減価償却費	33,518,814	34,939,017	-1,420,203
福祉事業活動支出計(5)	334,254,514	328,703,175	5,551,339
福祉事業活動収支差額(6)=(4)-(5)	44,427,483	43,140,461	1,287,022

事業活動外収支の部

収 入			
受取利息配当金収入	391,153	400,553	-9,400
会計単位間繰入金収入	11,900,000	500,000	11,400,000
経理区分間繰入金収入	18,950,000	1,500,000	17,450,000
その他の事業活動外収入	6,136,700	5,564,650	572,050
事業活動外収入計(7)	37,377,853	7,965,203	29,412,650
支 出			
会計単位間繰入金支出	11,900,000	500,000	11,400,000
経理区分間繰入金支出	18,950,000	1,500,000	17,450,000
その他の事業活動外支出	4,458,913	4,105,020	353,893
事業活動外支出計(8)	35,308,913	6,105,020	29,203,893
事業活動外収支差額(9)=(7)-(8)	2,068,940	1,860,183	208,757
経常収支差額(10)=(3)+(6)+(9)	47,492,681	43,924,634	3,568,047

特別収支の部

収 入			
その他の特別収入	454,984	645,531	-190,547
特別収入計(11)	454,984	645,531	-190,547
支 出			
固定資産売却損・処分損	7	7	0
その他の特別損失	454,984	645,531	-190,547
特別支出計(12)	454,991	645,538	-190,547
特別収支差額(13)=(11)-(12)	-7	-7	0
当期活動収支差額(14)=(10)+(13)	47,492,674	43,924,627	3,568,047

繰越活動収支差額の部

前期繰越活動収支差額(15)	262,540,045	259,160,341	3,379,704
当期末繰越活動収支差額(16)=(14)+(15)	310,032,719	303,084,968	6,947,751
その他の積立金取崩額(17)	0	0	0
その他の積立金積立額(18)	7,750,000	40,544,923	-32,794,923
次期繰越活動収支差額(19)=(16)+(17)-(18)	302,282,719	262,540,045	39,742,674



たくさんのご支援ありがとうございました

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)



寄附金及び物品を頂戴しました。(敬称略・五十音順)

(株)アイテム 池田 修史
青木 治
青木 克考
阿曾 麻里生
足立 一保
イオン登美ヶ丘店
生田 秀子
池端 英雄
生駒市
生駒市議会
生駒市北第2地区民生・児童委員
生駒市健康づくり推進員連絡
協議会
生駒市肢体不自由児・者父母の会
生駒市社会福祉協議会
生駒市障害児・者を守る連合会
生駒市身体障害者福祉会
生駒市第一地区民生児童委員
協議会
生駒市地域婦人団体連絡協議会
生駒市手をつなぐ育成会
生駒市中地区民生児童委員協
議会 幸元 淳子
生駒商工会議所
石川 公一
石田 高明
壺分町西自治会
壺分町東自治会
井戸 偉司
伊藤 匡
稲田商店
井浪 正子
今井 英之
岩本 先
上田 利雄
上野商店
鵜飼 和廣
有働 満喜子
梅田 馨
梅田 享子
梅本 路子
(有)エイト工業
江川 明梨
大阪Ⅱゾントクラブ
大塚 扶美子
大山 泰子
オカダアイオン(株)
奥田 啓子
(有)奥野重機
小野 桂子



尾山 恵美子
勝部 光子
加藤 正二
香取 弘美
上武 勝宣
上武建設(株)
上武建設(株)安全協力会
川崎 奈津子
河瀬 芳枝
川中 三津男
川本産業(株)
関西電気(株)労働組合奈良支部
神田 昌則
黄瀬 秀男
キャパラーウェストジャパン(株)
(株)きんでん
草場 美明
久保 和至
久保 昌城
公文 春子
(株)ケイアイ
小西 壽美雄
コマツ建機販売(株)
コマツレンタル(株)
近藤 昌代
近藤 嘉男
齋藤 愛子
齋藤 賢太郎
齋藤 頼親
坂上 喜美子
坂森 照美
(株)ササイ
佐々木 幸充
澤井 明子
四角 秀俊
宍道 喜久雄
肢体不自由児・者父母の会
島田 孝子
清水 泰之
辞本 昭夫
下村 みつ子
社会福祉法人 青谷学園
社会福祉法人いこま福祉会後援会
杉田 ヒデ
杉本 美津子
鈴木商事(株)
鈴木商事(株)自動車部
角重機
関谷 弘臣
(株)総合サービス

蕎麦田 勝弘
そよかぜの町
(有)太鴻
(株)大幸土木建設
高石 真代
高木 秀男
滝藤 博史
田口 真太郎
竹田 歌子
多田 あけみ・美智重
田中 清子
田中 峰子
谷口 武文
チョウタリィの会
辻村 泰範
常岡 昌子
鶴島 秀治
天之辻 弘彦
土居 恵美子
特定非営利活動法人
日本ワンディッシュエイド協会
中井 直美
中井 久子
中井 芙美子
永合 達生
中嶋 恭子
中嶋 潔
中庄谷 幸榮
中野 登喜子
中村 美子
中村重機
(株)ナラケンシ
奈良西部病院 桜井 立良
西井 正輝
西浦 一次
西垣 崇
西田 鈴梨子
西田 朋子
西沼 康友
西林 鉄雄
西元 健
野口 浪路
延城商店
畑 勝彦
畑下歯科医院
林 昌弘
早元 勇
坂東重機
ひかりが丘自治会
(株)樋口組

日立建機(株)
日野 誠一
ひびきの会
日向 紀子
平川 須美
平田 吉次郎
平野 いその
ふうしゃの会
福田 修
藤木 強二
藤田 照子
ブリヂストン建設タイヤ販売(株)
古川 博子
榊田 健
(株)榊谷
松尾 正則
松川 定嗣
マックスバリュース生駒南店
松下 重信
松嶋 千年
松本 敬子
松本 佐喜子
松本 真砂子
松本 泰和
松本建材土木(有)
まるまつ久保本店
水田 哲司
水野 恵理子
三谷 宏弥
源 知子
峰 千賀雄
宮川 洋代
村上 邦子
室井 博子
森 博行
矢崎 栄子
泰井 弓
柳川 保雄
柳田 富恵
矢野重機
山口 隆子
山口 智靖
山下 雄次
大和 谷一
山本 昌枝
ヨコハマ建機タイヤサービス(株)
横村 和宏
吉川 博好
和知 都司雄
その他匿名の方



編集

〒630-0222 奈良県生駒市壺分町 356-2 社会福祉法人いこま福祉会

TEL 0743-77-9900 FAX 0743-77-6868

編集責任者： 面松 大介 ・ 大谷 健太郎